

各 位

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 ニッピ
代 表 者 代表取締役社長 河村 桂作
(コード番号 7932)
問合せ先責任者 取締役経理部長 井上 善之
(TEL 03-3888-5117)

2023年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、第2四半期の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	650	600	400	139.08
実績(B)	22,417	1,027	1,239	831	289.08
増減額(B-A)	1,417	377	639	431	
増減率(%)	6.7	58.0	106.5	107.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	19,363	1,147	1,106	691	240.28

(第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異の理由)

売上高に関しましては、業績予想値を6.7%上回りました。主な理由としましては、コーラーゲン・ケーシング事業において、景気回復基調の海外を中心に数量を伸ばし、輸出が替も追い風となり増収となりました。また、ゼラチン関連事業においては、健康食品や医療向けのカプセル用ゼラチンなどが好調に推移し、化粧品関連事業においては、「ニッピコーラーゲン100」が健康志向の高まりと通信販売の優位性を背景に続伸したことにより計画値を上回りました。そのほか、皮革関連事業のハンドル用革、食品その他事業の有機穀物なども計画値以上の達成となりました。

営業利益に関しましては、業績予想値を58.0%上回りました。主な理由としましては、原材料、エネルギー価格の上昇により生産面では苦戦し、製造コスト上昇に伴った価格改定を段階的に実施したこと、外貨建ての輸出取引において想定が替レート以上の円安となったこと、また、効率的な広告宣伝を実施したことにより計画比で増益となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては、営業外での為替差益も発生したことから予想値をそれぞれ上回りました。

以上のことから、第2四半期累計期間の連結業績予想と差異が生じました。

2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 41,500	百万円 1,300	百万円 1,250	百万円 850	円 銭 295.54
今回修正予想(B)	45,000	1,650	1,750	1,200	417.24
増減額(B-A)	3,500	350	500	350	
増減率(%)	8.4	26.9	40.0	41.2	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	39,349	1,759	1,776	1,144	397.95

(通期連結業績予想の修正理由)

通期の連結業績予想に関しましては、第2四半期累計期間の連結業績差異を主な修正理由とし、さらに直近の経営環境、事業動向を踏まえ、原材料費、輸送コストの上昇や原油高騰に伴う薬品費、燃料費、電力費など生産コストの見直しを行った結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。

- * 上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上